

内田亨 うちだ じょう 動物學者、理學博士。明治二十年八月、二十四日諺阿縣生れ、昭和五十二年十月、二十七日夜（一九九一、一九二）。筆名村上保行、村上康行。大正十一年東京帝國大學理學部動物學科卒業。北海道帝大教授、同大附屬臨海實驗所所長。

著譯書 『北樺太一探險隊報告』（合著・大阪毎日新聞社編、大正十四年七月一日大阪毎日新聞社・東京毎日新聞社）、オズボーン著『生命の起源と進化』（宮下義信共譯、昭和六年九月二十五日岩波書店）、

『蜜蜂と花時計』（昭和二十一年二月十日札幌・北方出版社）、『大イソの歴史と心理』（昭和二十二年一月二十五日創元社「創元選書」）、

『大の本』（昭和二十二年六月一日法政大学出版局）、『生物學の並木路』（昭和二十二年十一月二十日内田老鶴園）、『象牙の塔の窓の

ら』（昭和四十二年四月十五日野田社「科學者隨想叢書」）、『動物百話』（昭和四十六年十一月二十日ニエー・サイエンズ社）等。

